



杉の子通信

古川東町カトリック保育園 5月号

桜の花も散り、後を追うかのように、色々な花が咲き揃ういい季節になって来ました。暖かくなった園庭で子ども達は歓声を上げて遊んでいます。生き生きとした光景を見ていると嬉しくなってきました。

『これから始まる あなたの物語 ずっと長く道は続くよ にじいろの雨
降り注げば 空はたかなる まぶしい笑顔の奥に 悲しい音がする
寄り添って今があって こんなにも いとおしい
手を繋げば あたたかくなる事 嫌いになれば 一人になってく事
一つ一つが あなたになる 道は続くよ』

あなたが笑えば 誰かも笑う事 乗り越えれば強くなる事
一つ一つが あなたになる 道は続くよ』

絢香の『にじいろ』という歌の一節です。曲もさることながら歌詞にとても感銘を受けました。人はたくさんの人達と関わることで心身共に成長していくものです。一人一人が違う環境で育ち一人一人がそれぞれの個性を持っています。それらを認め合いながら、自分自身も社会で生きていく術を自然に身に付けていく、子ども達はいつまでも小さなままではないのです。これから大人になっていく為に、この社会で生きやすいように育てていく責務が大人にはあると思います。まだ小さいからと言って全て大人が言いなりに動いてしまえば、子どもの心は成長しません。かといって全て大人の思いどおりにという心が壊れてしまいます。子育ては本当に難しいと改めて思います。小さい頃から子どもが考えられるように大人が働きかける。その心の余裕を持っていなければなりません。それが育児は育自なのです。子どもは親の背中を見て育つと昔から言われます。大人は真似をされても恥ずかしくない生き方をしたいですね。

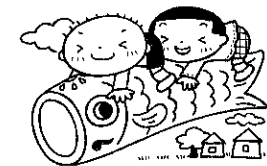
<園長 平野 義子>

4月生まれのお友達

おたんじょうび おめでとう!!

5月の行事予定

- 1日 子どもの日の集い 7日 静修の日
- 13日 バキシソライザー龍の交通安全教室 22日 誕生会
- 26日 縦割り保育(3~5歳児) 30日 親子遠足 ?日 避難訓練



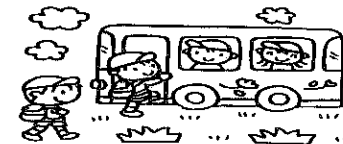
5月のうた

♪マリアさま

- ※マリアさま おててあわせて
いつのひも わたしのために
いのりくださる
1. おきるから やすむときまで
ちちははの みこころにそい
よいこであれと
※くりかえし
 2. めがさめて イエス マリア
ヨゼフさま まもりたまえと
いのるようと
※くりかえし

♪バスごっこ

1. おおがたバスにのってます きっぷをじゅんに
わたしてね おとなりへ (ハイ!) おとなりへ
(ハイ!) おとなりへ (ハイ!) おとなりへ (ハイ!)
おわりのひとは ポケットに!
2. おおがたバスにのってます いろんなところが
みえるので よこむいた(ア!) うえむいた(ア!)
したむいた(ア!) うしろむいた(ア!)
うしろのひとは ねーむった!



お父さん、お母さんから

古川東町カトリック保育園に入園して、1年が過ぎました。はじめは、新しい保育園、新しい先生、新しいお友達とこれまでとは全く違った環境になったので、毎日不安ととまどいでいっぱいだったと思います。朝、登園するとなかなか離れられず、時には泣いてしまうこともありましたが、それでもだんだん慣れてきて、日々の生活や季節ごとの行事を通して、少しずつ成長していくことができました。1年経った今では、保育園でお友達と遊ぶのが大好きで、保育園を楽しんでいる様子が変わりました。また、一緒に通っているまだ小さい弟の面倒も見てくれる頼りになるお兄ちゃんなので、そんな風に成長した姿を見る事ができて、私達は本当にうれしく思っています。残りの保育園生活は1年を切りましたが、これからのひつじ組での1年を大いに楽しんで、たくさん思い出を作ってほしいと思います。どんな1年になるか楽しみです。

《ひつじ組 OO OOくんのお母さん》

クラスだより

ばんび組 (0歳児)

- 《ねらい》 ・一緒にいる友達に興味を持ちながら生活する。
・安定した生活リズムの中で安心して過ごす。
- 《家庭連絡》 ・周りの友達に興味を持ちながら過ごせるよう、関わっていきましょう。
・園や家庭での生活リズムが整うよう連絡を取り合しましょう。
・暖かい日は厚着にならないようにしましょう。



ひよこ組 (1歳児)

- 《ねらい》 ・安定した生活の中で、友達との関わりを喜ぶ。
・園の生活リズムに慣れ、安心して過ごす。
- 《家庭連絡》 ・新しい環境の中での生活や連休の疲れが出やすい時期なので、体調の変化に十分気をつけましょう。
・戸外で遊ぶ機会が増えるので、気温の変化や衣類の汚れに対応できるように着替えの用意をお願いします。

ことり組 (2歳児)

- 《ねらい》 ・友達と関わり楽しく遊ぶ。
・保育士に手伝ってもらいながら身の回りの事をしようとする。
- 《家庭連絡》 ・友達と一緒に遊ぶ姿を見守ったり、共に遊んだりし、友達と関わる楽しさを味わえるようにしていきましょう。
・靴や衣服の着脱など、一人でできることは見守ったり、できないところは励ましたり、手を添えて知らせていきましょう。



こねこ組 (3歳児)

- 《ねらい》 ・友だちを思いやる気持ち、大切にできる心が育つ。
・生活リズムを整え、落ち着いて過ごす。
- 《家庭連絡》 ・友だちとの出来事に耳を傾け、その中で友だちを思いやり大切にすることを知らせていきましょう。
・新年度の疲れが出てくる時期です。連休中も規則正しい生活をし、ゆっくり疲れを取るようにしましょう。

うさぎ組 (4歳児)

- 《ねらい》 ・友達を大切に、思いやりの心を持ちながら生活する。
・保育士や友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- 《家庭連絡》 ・友達にも思いや考えがあることに気付けるよう働きかけ、思いやりの心を育ててきましょう。
・散歩をしたり、公園と一緒にいき、親子で体を動かして遊べるよう誘っていきましょう。

ひつじ組 (5歳児)

- 《ねらい》 ・友だちを大切にできる心や共に喜び、悲しみを分かち合う心が育つ。
・生活リズムを整える。

- 《家庭連絡》 ・保育園での一日の様子や友達との出来事に耳を傾け、友だちの良さに気付けるよう導いていきましょう。
・生活リズムを整え、早寝早起きが習慣づくようにしましょう。

[給食室]

- ・新しいクラス、お友だちにも慣れ、楽しい雰囲気です。食事の準備でもお友だちや保育士のお手伝いを積極的にしてくれます。
ご家庭でも子どもと一緒に食事の準備をしてコミュニケーションをとってはいかがでしょうか。



『 友達を大切にする心が育つ 』

昨年は5歳児の担任をし、今年は1歳児の担任をしています。5才児クラスにもなると、仲の良い友達ができ、会話をしながらどんどん遊びが広がっていきます。時にはケンカをし、時には協力し、友だちの存在があるからこそ、どんどん心が成長していきます。現在の1歳児クラスでも、ちゃんと友達のことを自覚し生活しています。友達が持っている物はなぜか良い物に見え欲しがったり、友達の遊びに興味を持ち、傍で同じ遊びをすることもあります。

カトリック保育園は、年齢ごとのクラスが一つずつしかありません。0歳児の時に入園し、卒園するまで過ごす、6年間も同じ友達と食事をし、昼寝をし、遊ぶこととなります。それにせいか、とても絆が強くなり大きいクラスになると、友達と遊びたくて、保育園に来ることがとても楽しく、活き活きとしてきます。友達が喜んでいる時は、一緒に喜び、友達が困っている時は手を差し伸べる、友達のことを自分のことのように考えられる、思いやりの気持ちが育つように、私自身子ども達とじっくり向き合っていきたいです。

< ひよこ組担任 宮澤 果代子 >



《お知らせ》

- × ◎育休中だった青木友香保育士が5月1日より復帰します。
- × それに伴い、産休代替の為に働いていた加藤絵梨奈保育士が退職となりました。
- × 宜しくお願いします。

【 おねがい 】

- 駐車場での長居は、思わぬ事故や怪我につながります。危険ですので、控えるようにしてください。また、駐車場の石を投げて遊ぶ姿が見られます。注意をお願いします。



あなたの一分間拝借！

ミサの後、御堂で静かなひとときを過ごしている時、ふと気づいたことがありました。それは仙台教区(青森県、岩手県、宮城県、福島県)には50余りの教会があるのに、保育施設と関わる教会は古川教会、巨理教会だけであるという不思議です。多くの教会、修道会等は、幼稚園学校等の教育施設を通して社会に貢献しておりますが、保育所に限り關西九州に比して北は少ないようです。

新約聖書ヤコブの手紙の中には次のような言葉が書かれています。熟読玩味に値することと受け止めております。「自分は信心深い者だと思っても、舌を制することが出来ず、自分の心を欺くならば、そのような人の信心は無意味です。みなしごや、やもめが困っている時に世話をし、世の穢れに染まらないように自分を守る事こそ、父である神の御前に清く汚れの無い信心です。」[ヤコブ1の26~27]

まさに、いと小さくされた人々、貧しい弱い方々への配慮を求めている神の声ではないのでしょうか。福祉施設で生きる人々への福音であり、保育施設は、まことの信心とは無関係ではないことに心の目を向け、教会と共に神の御言に適う子供たちの人間性育成に精進する唯一の場として、祈り且つ働き、キリストの掬、愛を分かち合い、仙台教区教会内の数少ない保育所を新しいものに進化させて頂きたいと思っています。

カトリックならでは人間育成の場として発展成熟していくよう祈念してやみません。

人は、人と人との間に立つ人間的(じんかんてき)存在であると言われてます。すべての人は、社会性に招かれている人格的存在であることを心に銘記し、神から存在を与えられた神の子であるという原点に立ち返りお互いを見詰め直すことが大事なことです。

5月の人間性育成のテーマは『友達を大切に作る心を育む』こととしております。

保育指針に次のように書かれています。

- ① 友達と自分から進んでかかわるように気配りする。
- ② 友達とのかかわりの中で言うてはいけないうことや、してはいけないうことがあるように配慮する。
- ③ 友達と楽しく生活する中できまりの大切さを気づかせるよう努める。

[親しき仲にも礼節、信義を重んじるよう目指す]

- ④ 友達と自分がよりよき人間に成長していくために、とても大切なそして自分にとってなくてはならないことの気づき合う、呼び掛け合いながら共に人格完成を目指す。
- ⑤ 友達との交わりはお互いの社会性を深め、宗教性に達する鍵を秘めている。

以上のことを惻隱の情をもって実行するところに育児の尊厳と人間性育成への生き甲斐を見出すことが出来ることと信じております。



特配すること、それは物質文明の豊かさ、ハイテク技術の進歩に困まれている現代っ子が人と人との交わりを大切にしようとしないう姿勢を当然のように持ち始めている子供たちへの処遇は今のままでよいのでしょうか?ということ。まさに欠陥人間で昔(ちまた)は溢れつつあります。独り遊び、部屋に閉じ籠って携帯電話で長話に耽る子、ネットでメールを待ち焦がれ、一喜一憂する子、機器によるゲームに夢中になり人の話を耳にも鼻にも入れようとせず自己満足に浸る子が増え続けていると信じているのは私だけではないと思いますが・・・いかなものでしょうか。機器そのものは悪ではありません。その活用のあり方が問題であることに気が付かないのですから、大人の英知による指導が求められていることに目覚め、適切な配慮をしなければならぬと思います。それは愛の証(あかし)であり、おとなの責任でもあるのです。子供の心を蝕むようになったのでは、発明者も草葉の陰で立くことになるでしょう。自律心の育成不完全な人間が自由気儘に使用すれば、友達どころか社会の秩序を乱す癌となるでしょう。

秩序のない自由は、人を滅びの世界に誘う! 人生の目的は愛である神とのかかわりをもって生きることあり! 友のためにいのちを尽くすほど大きな愛はない! 心友は世の宝なり!

< カトリック古川教会 司祭 川井 啓 >

